

新庁舎等の整備についてお知らせします！
新庁舎 井戸端会議

新庁舎・市民交流施設オリナスの建設工事の進捗状況をお知らせします

令和3年3月完成予定の新庁舎・市民交流施設オリナスの工事は、予定通り順調に進んでいます。現在は各棟の鉄骨建方工事などを行っています。

なお、施工現場では安全を最優先に作業を進めるとともに、新型コロナウイルス感染症への対策として、作業員の体調管理の徹底やソーシャルディスタンス（社会的距離）の確保、リモート会議等に取り組んでいます。



▲市民交流施設ホール部分の鉄骨建方（市民交流施設建設地／7月1日）

約600席あるホールの大空間を確保するため、鉄橋のようなトラス架構が屋根部分を支えています。



▲工事現場の全景（新庁舎・市民交流施設建設地／7月15日）

写真左手前が庁舎西棟（2階建て）、奥が庁舎東棟（4階建て）、中央から右が市民交流施設です。工事が進み、建物の大きさが敷地外からでも分かるようになりました。

◆問合せ 新庁舎建設室（市役所内線365）



簡易テントの設営訓練。テントは風水害の指定避難所に優先的に配置予定

避難所での感染防止訓練

7月3日 生涯学習まちづくりセンター

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、西脇市は災害時の避難所で避難者同士の接触を避けるための簡易テントを導入します。また、避難所受付では検温や問診を行い、避難者が安心して過ごせる環境を整えます。

出水期を迎え、避難所に従事する職員が例年とは異なる避難者の受け入れ手順や避難所の消毒作業、テントの設営方法などを確認しました。

Photo Gallery

まちの話題や風景を写真で紹介



7月は「社会を明るくする運動」強調月間。北播保護区西多分区保護司会の岩本幸久会長らが片山市長に総理大臣メッセージを伝達しました。（7月1日、西脇市役所／19ページに関連記事）



「夏の交通事故防止運動」に合わせ、西脇多可交通安全協会などの約20人が啓発活動を実施。施設利用者に啓発グッズを手渡し、交通安全を呼び掛けました。（7月15日、茜が丘複合施設みらいえ）



野村廃寺（野村町茜が丘）展示コーナー。出土した遺物は解説するパネルや写真とともに紹介



良好な状態で見つかった大型の遺物も展示

新型コロナウイルスの感染拡大を受け開催を見合わせていた企画展「西脇・多可の古代」を、郷土資料館で開いています。

西脇市と多可町域は8世紀初頭に「託賀郡」として成立。古代から一つのまとまりを持つ地域でした。企画展では、両市町での発掘

調査で見つかった考古資料約200点を展示し、「播磨国風土記」に記される4つの里（当時の行政単位）ごとに、調査成果を交えながら地域の歴史を紹介しています。

会期は10月25日まで。入場無料・月曜日休館（祝日の場合は翌平日）。

待ちに待った企画展「西脇・多可の古代」開催
7月18日～ 播磨内陸生活文化総合センタードワジウム（郷土資料館）



親子で協力して作った水鉄砲で的を射るゲームを楽しむ子どもたち

水遊びで夏を先取り

7月12日 茜が丘複合施設みらいえ

父親の育児参加を促すほか、親子で夏を感じてもらおうと、西脇パパサークルJAOとともに水遊びイベントを開催。すくい網を使ってシャボン玉を作ったり、ペットボトルに絵の具を入れて色水を作ったりして、参加した子どもたちは存分に水遊びを楽しみました。また、竹を使った水鉄砲作りにも挑戦し、完成した水鉄砲で的を射るゲームに夢中になりました。



神事ではみこによる製織の儀や染糸奉納で播州織の発展などを祈願

播州織の発展とコロナ収束を祈願

7月7日 機殿神社

一年に一度、願い事を聞く織り姫にあやかって七夕の日に開かれた「織物感謝祭」で、織物業界の代表者や片山市長らが、播州織の発展や産地の活性化、新型コロナウイルス感染症の収束を祈願しました。

例年、感謝祭は「へその西脇・織物まつり」と同日に開催。今年は同感染症の影響でまつりが中止となり、感謝祭は規模を縮小して行われました。

まちの話題

このコーナーでは、イベントやまちの話題、団体の活動などを紹介しています。耳寄りな情報は秘書広報課まで（市役所内線207）。

紙面に載せきれないまちの話題がどんどん届きます。西脇市 Facebook で情報発信中！